



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.9.25 No. 3467

崩壊過程に突入したJR体制

「東日本5万人体制」粉碎の態勢確立へ

2
獲得
課題
大会へ
おし
つけ
るに

分割民営化 を破産のツケ おしつけ るに JR

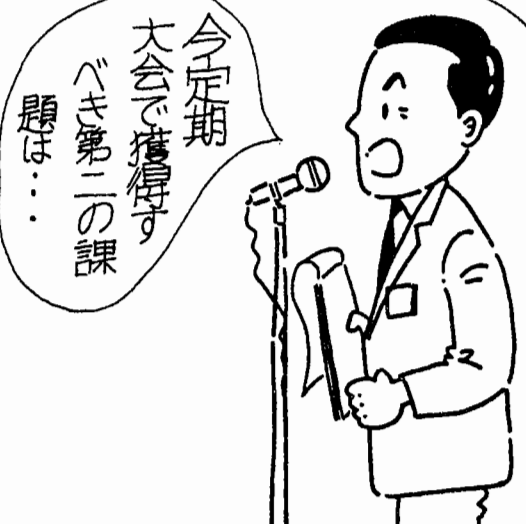
JR東日本は、「フューチャー21」と称して、五万人体制にむけて大合理化攻勢を開始している。

その内訳は、①勤乗勤の改善②検修の「新検査方式」③自動改札導入による駅要員の極限的削減の推進④施設・電気関係の大合理化⑤そして、「時短」と称する全面的な労働強化の攻撃など、全職場にわたる大合理化である。

JRは、株式上場の破産など、経営の根幹が破産に陥り、そのツケを全て労働者におしつけて危機を乗り切ろうとしている。こんなことが許されてはいはずがない。

しかも、また再びJR総連革マルと結託した業務移管という組織破壊が画策されている。

特にJR当局は、九二・三ダイ改において、改悪乗務員勤務制度実施を突破口に、一挙に全面攻撃に出ようとしている。従って、われわれの当面の最大の課題は、「日刊」前号でも提起したように九二・三ダイ改を焦点とした新たな大合理化に対し、組織の総力を挙げて立ち向かうことである。



今定期
大会で獲得す
べき第二の課
題は...

動労千葉第18回 定期大会

とき、9月29日13時から
30日12時まで

ところ、九十九里町、国民宿舎
「九十九里センター」

(大網駅発、12時25分発の貸切り
バス有り)

● 検修・営業等、地上勤務者に対する大合理化攻撃との闘いを強めよう。
JR東日本が提案した「車両の新検査方式」は、現在の体制を「古くさいもの」として、保守部門の全面的削減を狙っている。職場での日常的抵抗闘争をどう構築するか、大会での積極的討論をおし、反撃体制を築き上げていかなければならない。

● 「時短」に名をかりた勤務制度改革、労働強化を打ち破る闘いの構築をかつとろう。
国際的な非難の的となっている日本の異常な長時間労働を排し、真の時間短縮を獲得するためにいかに闘うか大会で方針を練りあげよう。

● 強制配転・運転士登用差別、強制出向攻撃粉碎の闘いを徹底的に強めよう。
JR総連革マルと結託して進められる歪みきった労務政策をうち破り、強制配転者の現職復帰、全運転士資格保有者の登用をかちとるため、大会を期に全面的な闘いに入ろう。

また、JR総連革マル解体・一掃の闘いを徹底的に強めることである。一切の差別・選別攻撃の最大の先兵であるJR総連の解体・一掃なしに国鉄労働者の勝利はない。革マル支配に対して噴出する怒りを結集し、「全ての動力車乗務員は動労総連合へ」を合言葉に闘いぬこう。

● 清算事業団闘争勝利、解雇撤回・原職奪還の闘いをさらに強めよう。
九月十、十一日に開催された国労大会は、全国の闘争団、傍聴者の声により国労中央の「和解路線」＝闘争団切り捨てを許さず、二日目の人事では「和解派執行部」の成立を阻止した。不屈に闘う闘争団とガッチリとスクラムを組んで一〇四七名の現職奪還にむけて闘いを強化することである。

大会での真剣な討論を通し、 確固たる方針をうち立てよう!